

社内の聴覚障がい者のために
社会貢献として聴覚障がい者支援のために

デフリンピック で見えた 壁を深掘りする

2026

02/25 水

15:00 - 17:00

形式：対面&ZOOM ハイブリッド形式

対面会場：コニカミノルタジャパン株式会社(東京・浜松町)

昨年(2025年)11月、100周年という記念すべきタイミングで、デフリンピックが東京で開催されました。それにより「聴覚障がい者との共生」が注目されましたが、情報保障の欠如や心理的障壁など特有の課題も顕在化しました。本来、障がいのある人、一人ひとりの状況に合わせた協働や支援があるべき姿です。本セミナーでは共生社会を築く上で見えてきた壁を深掘りし、また、聴覚障がい者と協働・支援されている企業事例から、共に働くための合理的配慮や具体的な環境整備、社会貢献としての効果的なサポートについて学びます。さらには、そこから一歩進んで、支援をする側とされる側という壁も超えて個性が響き合う共生社会のあり方を模索したいと思います。

登壇者：



認定NPO法人Silent Voice
代表理事 尾中友哉さん

1989年 滋賀県出身。聴覚障がい者の両親を持つ耳の聞こえる子どもとして、手話を第一言語に育つ。大学卒業後、東京の広告代理店に勤務。「自分にしかできない仕事とは？」について考える。2014年から聴覚障がい者の聞こえないからこそ身に付いた伝える力を生かした企業向け研修プログラム「DENSHIN」や、ろう児・難聴児向けの総合学習塾「デフアカデミー」を展開し、聴覚障がい者の強みを生かす社会の実現に向けて活動している。2018年、青年版国民栄誉賞といわれる人間力大賞（主催：日本青年会議所）にてグランプリ・内閣総理大臣奨励賞および日本商工会議所会頭奨励賞を受賞。



こんな方にオススメ

- ・企業のダイバーシティ推進者、人事部担当者
- ・サステナビリティ推進部・社会貢献担当者
- ・組織のコミュニケーション変革を目指す方
- ・本質的な共生社会づくりを目指す方

アマゾンジャパン合同会社

ACIチーム プロジェクトマネージャー 山本 薫さん

猪野さんと協働し、デフリンピックトータルスポンサーとして、自社の強みを活かした包括的な支援で「選手が競技に専念できる環境づくり」と「大会の認知度向上」の取組を実現。

アマゾンジャパン合同会社

Studio Ops Associate 猪野 康隆さん

デフバレーボール選手として、1997年コペンハーゲン大会、2001年ローマ大会、2005年メルボルン大会、2009年台北大会まで4回連続デフリンピック出場。現在アマゾンジャパン合同会社では商品撮影に関わる業務に従事。社員有志による障がいのある方とその支援者のための活動体「PWD (PEOPLE WITH DISABILITIES) JAPAN」にて活躍中。

